

サイエンスレクチャー（生物）

2月6日

「生殖補助医療技術を知ろう」

講師 岡山大学大学院環境生命科学研究科
農学部総合農業科学科応用動物科学コース
生殖補助医療技術教育研究センター
助教 田崎 秀尚先生

- 内容
- ☐ 妊孕（にんよう）性に関する〇×クイズ
 - ☐ 生殖補助医療技術ってなに？
 - ☐ 新しい生殖補助医療



以下、生徒の感想を一部抜粋

- ・妊娠する事や出産することはすごく小さな確率だと知り、毎日を大切に過ごそうと思った。
- ・妊娠したときの母親や父親のその時の食生活などが卵子や精子に影響があることに驚いた。
- ・生殖補助医療技術には良いことだけでなく、悪いこともあることを知れた。正しい知識を持って判断したい。
- ・受精の際、精子が卵子に向かうとき自然にその方向に向かっていく。その理由がまだよく分かっていないらしくとても不思議だと思った。
- ・性の話がタブーなのは日本だけではないと思っていたので日本が先進国の中で一番知識がないことに驚いた。
- ・もっと不妊を声にすることができる世の中になればいいと思った。

企業訪問

2月14日

訪問先 大王製紙株式会社 三島工場
三木特種製紙株式会社 本社工場
東洋炭素株式会社 詫間事業所
神島化学工業株式会社 詫間工場及びテクニカルセンター

三木特種製紙株式会社を訪問した生徒の感想（抜粋）

化学のサイエンスレクチャーの授業で、お札の偽造防止のためにいろいろな工夫がされた紙や燃えない紙、面白い紙についてたくさん学び、他にもたくさんの紙を知りたいと思っていたので、今回新たに初めて聞いた紙を知ることができ、とてもいい経験になりました。特にメンブレン用支持体について、水を濾過することができる紙をどのようにして開発したのかがとても気になりました。海外の多くの国がきれいな水を飲めない状況なので、とても画期的な製品だなと思いました。また、電気絶縁紙というものを初めて聞き、電線にも紙が利用されていて、それで電圧を変えることができるのだなととても驚きました。

